

のことから、海水の流動の強弱とモ場形成の適否の間には強い負の関係があるものと想定された。

表-13

ふるい別粒度測定資料

採集場所	採集数	粒 徑 比率	>3.360> >1.000> >0.500> >0.210> >0.053>					
			乾重 (%)					
リュウキュウスガモ帯	14		120.77 (8.6)	191.22 (13.7)	308.00 (21.9)	452.93 (32.4)	297.70 (21.3)	29.23 (2.1)
マツバウミジグサ帯	5		21.82 (4.4)	73.42 (14.7)	95.36 (19.1)	162.05 (32.4)	139.41 (27.9)	7.28 (1.5)
ベニアマモ帯	5		46.62 (11.7)	66.75 (16.1)	93.84 (23.5)	124.25 (31.1)	63.90 (16.0)	4.83 (1.2)
モバ以外の場所	7		110.7 (15.8)	210.2 (30.0)	248.3 (35.5)	122.4 (17.5)	7.5 (1.1)	0.8 (0.1)

5 ま と め

沖縄島におけるアジモ場は、季節風や地形等から漂砂が小さい海域に形成されている。このことからアジモの初期定着には漂砂が阻害要因の一つになると考えられる。

アジモの生育に必要な最低照度は9~10月の晴天日中照度(満潮時)が約3万lxに相当すると思われた。